

# 小児造血細胞移植セミナー

# AYA世代の困難事例

2025年1月25日（土）13:00～16:00

会場：TKPガーデンシティPREMIUM東京駅丸の内中央ホール12A

対象：造血細胞移植に関わる看護師、HCTC、相談員、院内学級教員

造血幹細胞移植推進拠点病院の事業の一環として、関東・甲信越ブロック(南関東)におけるセミナー開催等の地域連携に取り組んでおります。

2025年1月25日、造血細胞移植に関わる看護師、HCTC、相談員、院内学級教員を対象に、ホスピタルクラウンとしても知られる「赤鼻そえじ先生」をお迎えし、病気のお子さんたちにとっての学びの大切さについてお話いただきました。また、多様な課題を抱えるAYA世代医療について、なかなか踏み込めない現状をグループワークで共有するセミナーを開催し、34名の方々にご参加いただきました。

## プログラム

### 開会のあいさつ

山本将平 東海大学医学部付属病院 小児科

### 知的障害のあるAYA世代移植適応患者への看護実践

荻野千明 東海大学医学部付属病院 看護部

### YA世代の意思決定支援～治療選択におけるアイデンティティの尊重 当院における、AYA世代がん支援チームの立ち上げ

秋山典子 公立大学法人横浜市立大学附属病院 看護部

### A世代との信頼関係構築について～意思決定支援の振り返り～

野田ゆかり 都立小児総合医療センター 看護部

### 学ぶことは生きること ～子どもの姿と子どもの権利～

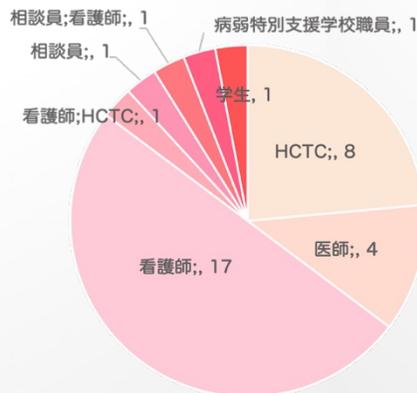
副島賢和 昭和大学大学院 保健医療学研究科

### グループワーク：AYA世代造血細胞移植患者に対する多職種の間わり

### 閉会のあいさつ

山本将平 東海大学医学部付属病院 小児科

## 職種



## 充実感

学びにならなかった, 0

わからない, 1

学びになった, 13

## 時間

長い, 0

短い, 2

ちょうど良い, 12

アンケート回答:14名

## 次回開催時のご希望

- 5～6月ぐらい
- 集まった開催は、色々な方ともお会いできるのでメリットもあるのですが、オンライン併用の開催にしていると嬉しいです。
- 施設ごと、特に看護師が目当てにする部分で、管理方法が違います。施設の作りも異なるため、同じにいけないとは思いますが、そういった点を自由に話せる時間があると、ありがたいです。

# 小児造血細胞移植セミナー AYA世代の困難事例 2025年1月25日（土）13:00～16:00

## グループワーク：AYA世代造血細胞移植患者に対する多職種の間わり

小児造血細胞移植セミナー  
AYA世代の困難事例  
グループワーク ワークシート

世代 ～中学生・高校生～・20歳～  
\*グループの世代に○をつけてください  
テーマ 妊孕性・家族・**ACP**・進学、就職  
\*話し合ったテーマに○をつけてください

# A

1. **ACP**

IPDS = 中学生以上 全員とる。  
心理士にも入ってもらって入院時に声かけのうちは書いてもらう。  
最終期にあたることば、子どもにらかき本等にヤソいことと提供してほしい。  
(回診で"は、伺回も(移植先あいら)とる。

最終期の小学生。最後はしにこと。  
親に見せたい。と子どもが話しにら見せたい  
情報収集の一貫、あはで子どものこととる。  
親はとる。  
完治しても問題はあはる(あ、外未はつてい。  
子どもにいつか思いを表現して良いことと伝える。

受験、進学。  
神奈川 学校によつて違う治療と合わせる  
公立オンラインで保障 } 社かか異はる  
私立 校長の31加減 } →MSW, 学校のコーディネーター

中学・転校  
高校=地元校。担任の先生。  
その学校の理解。  
親が重たかよても本人がオンラインで見学でよい。システム化してほしい。

高校-工業はとる校がある  
ものは無理と言わ木(少  
システムはレベルを上げ  
は、か  
本人かそのことを考えに時は  
(子ども)  
前例か"はい"というのでははく  
成績のつづ方はとる自画に  
"制限"ととるは、

©TOKAI UNIVERSITY2024

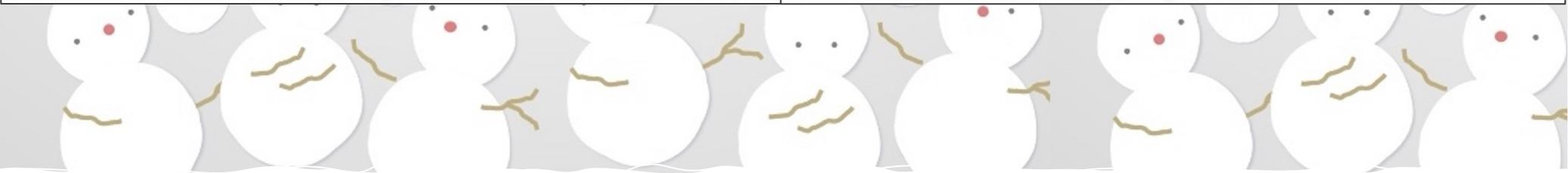
小児造血細胞移植セミナー  
AYA世代の困難事例  
グループワーク ワークシート

テーマ 妊孕性・家族・ACP・進学、就職  
\*話し合ったテーマに○をつけてください

# A

2 小児がんの受験 = 全国的にシステム化してほしいか  
その場にいるかいては、かては、は、  
尺屏 = オンライン

©TOKAI UNIVERSITY2024





# 小児造血細胞移植セミナー AYA世代の困難事例 2025年1月25日（土）13:00～16:00

## グループワーク：AYA世代造血細胞移植患者に対する多職種の間わり

小児造血細胞移植セミナー  
**AYA世代の困難事例**  
グループワーク ワークシート

世代 ～中学生・高校生～・**20歳～**

\*グループの世代に○をつけてください

テーマ **妊孕性・家族・ACP・進学、就職**

\*話し合ったテーマに○をつけてください

# C

1

20代'女性 (東大科学大) 本人が希望ありか。病状からの世代困難  
 ↳ 希望が強い。実地(院内で卵巣保存)  
 中 20代'前半を1X-3代)まで行く(7歳半が2歳)  
 温存施設は? → ネットワークのある病院へ。  
 卵巣保存  
 凍結... マリアンタ... 卵巣保存  
 精子保存... 実地でも精子はいらぬ場合 卵子を凍結するが困難  
 希望率

©TOKAI UNIVERSITY2024

# 小児造血細胞移植セミナー-AYA世代の困難事例 2025年1月25日（土）13:00～16:00

## グループワーク：AYA世代造血細胞移植患者に対する多職種の間わり

小児造血細胞移植セミナー  
**AYA世代の困難事例**  
グループワーク ワークシート

世代 ～中学生・高校生～・20歳～

\*グループの世代に○をつけてください

テーマ **妊孕性・家族・ACP・進学、就職**

\*話し合ったテーマに○をつけてください

# D

1

○思春期以上の年代では妊孕性について本人の意見が反映されるケースが多い。小学生～中学生では親の意見が決められており、成長後は疑問が生じないが心配 → 過去に決らなないのと同時に親の決断の理解を促し意味が与る  
↓  
妊孕性についても子どもにも考えてもらえるような関わりについてのトレーニングが必要。

○20才～でも小思受診歴のあるケースは社会性や自律性が低く血内からの20才とかなり異なる。疾患が完治して、自分らしく生きられるよう小思期から自己決定や自律性を育て関わりをしていく必要のある。

©TOKAI UNIVERSITY2024



# 小児造血細胞移植セミナー-AYA世代の困難事例 2025年1月25日（土）13:00～16:00

## グループワーク：AYA世代造血細胞移植患者に対する多職種の間わり

小児造血細胞移植セミナー  
**AYA世代の困難事例**  
グループワーク ワークシート

世代 ～中学生・高校生～・20歳～  
\*グループの世代に○をつけてください

テーマ **妊孕性・家族・ACP・進学、就職**  
\*話し合ったテーマに○をつけてください

F

1 高校生の男子 拘禁状態 辛い状況

治療前は大変だった。  
嫌な言い方をして聞かされた。あきらめはしなかった。本人に決めた約束を守る。「いつか帰る？」「どうしたらいい？」

拒否に行動に出してほぐす。  
どう関わりたいか。医療者として1人1人不安になってしまっている。  
信頼関係築くのも難しい。

本人の希望・家族の希望。  
何に約束するのかわからない。皆で決めよう。告知も含めて。本人に納得してもらう。負担を減らす。

医師に講義してもらって欲求を満してあげる。

© TOKAI UNIVERSITY 2024

小児造血細胞移植セミナー  
**AYA世代の困難事例**  
グループワーク ワークシート

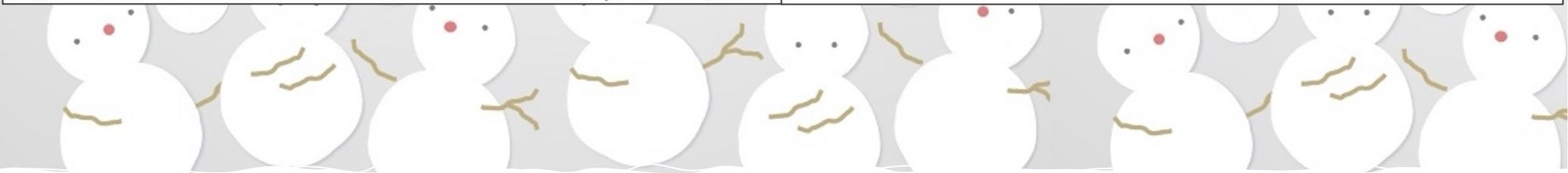
テーマ **妊孕性・家族・ACP・進学、就職**  
\*話し合ったテーマに○をつけてください

F

2 高校生の院内守るのわがしはうーっ！  
環境準備が難しい。  
高校の先生と連携してほしい。  
大学にボランティアで教えてくれる。  
東京の転籍している。  
進学、留学  
あきらめはしなくていい。うーっ！  
出席日数はできるだけ調整してあげたい。うーっ！

中・高校に就ける実現してほしい。発言の仕方のために対応してほしい。  
年齢より経験値が低いのだから発言もある。  
「痛みを減らして!!」軽減してほしい。このように対応してほしい。うーっ！  
一緒に困るし。うーっ！

© TOKAI UNIVERSITY 2024



# 小児造血細胞移植セミナー AYA世代の困難事例 2025年1月25日（土）13:00～16:00

## グループワーク：AYA世代造血細胞移植患者に対する多職種の間わり

小児造血細胞移植セミナー  
AYA世代の困難事例  
グループワーク ワークシート

世代 ～中学生・高校生～・20歳～

\*グループの世代に○をつけてください

テーマ 妊孕性・家族・ACP・進学・就職

\*話し合ったテーマに○をつけてください



1 AML 治療後 → 進学にむけ頑張るとはりきってENTLは

(もともと経済的に~~困~~こままりだった)

↓  
1年以内で再発 SCT

↓  
SCT 后再発 → 統合失調症に似た

↓  
AML悪化ターミナル

↓  
父は言わないで!!

医療者も言えない

精神科 Dr. 言ってもいいよ

↓  
結局 何も言わずに亡くなった。

→ 言わずにいたことはとても

本人より「結局 治ってねえじゃんか」

父「どうしてよな...」

→ という場面があった

©TOKAI UNIVERSITY2024

# 小児造血細胞移植セミナー-AYA世代の困難事例 2025年1月25日（土）13:00～16:00

## セミナーの感想

- 院内学級の先生の前で話す、子どもたちの本音に驚き、考えさせられました。私たちが見えていない部分をたくさんフォローしてもらっていると改めて感じました。また、様々な事例を通して各施設が悩みながら取り組んでいることを共有でき有意義な時間を持つことができました。自施設での関わりに繋げて活かしていきたいと思えます。
- AYA研の集会同様、このようなテーマのセミナーは、多職種の人が一堂に会する事に意味があると思いました。
- 副島先生の話がとてもよかったです。動画まで拝見したかったので、タイムマネジメントをもう少ししていただけたらよかったです。
- 現場の困難を共有できたことで、気持ちが楽になったり、患者サポートへのヒントをいただくことができました。事例発表された先生方の真摯な姿勢に感銘を受け、私ももっと患者さんと真剣に向き合いたいと思えました。
- どれも、とても深い話で深く考え込んでしまいました。副島先生のお話は、病院にいる子どもだけでなく、すべての子どもに通じる話で、心が揺さぶられました。コロナの影響、かなり深いところにまで及んでいることを改めて感じました。
- あれだけ多施設がそろっているならパネルディスカッションがあってもよかったですのでは

